

平成28年度(2016年度)

管理事業名	休日急病診療所事業			総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第6節 健康な暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 13 休日急病診療所費
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域医療推進室休日急病診療所		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
休日急病診療所事務事業					
事業の目的と概要 吹田市立休日急病診療所は、日曜日・祝祭日・年末年始において、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、屋間における応急的な医療を市民に提供することで、平成28年度は年間延べ4,842人の救急患者に対する診療業務を行い、休日等の初期救急医療の確保に努めました。 患者数の増減につきましては、平成26年度はインフルエンザの大流行により大幅に患者数が増加しましたが、平成27年度は平成27年2月22日に休日急病診療所が千里保健医療会館から現在の総合福祉会館4階へ移転したことにより患者数が減少しています。平成28年度につきましては、現在の診療場所が周知されてきたこと、また平成27年度と比較してインフルエンザによる患者数が増加したことにより増加しました。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
受診者数	人	5,725	4,320	4,842	休日急病診療所を利用された患者数

成果の説明
 吹田市立休日急病診療所は、日曜日・祝祭日・年末年始において、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、屋間における応急的な医療を市民に提供することで、平成28年度は年間延べ4,842人の救急患者に対する診療業務を行い、休日等の初期救急医療の確保に努めました。
 患者数の増減につきましては、平成26年度はインフルエンザの大流行により大幅に患者数が増加しましたが、平成27年度は平成27年2月22日に休日急病診療所が千里保健医療会館から現在の総合福祉会館4階へ移転したことにより患者数が減少しています。平成28年度につきましては、現在の診療場所が周知されてきたこと、また平成27年度と比較してインフルエンザによる患者数が増加したことにより増加しました。

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	50,824	37,357	41,738	4,382
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	113	56	286	229
経常収入 小計(a)	50,937	37,413	42,024	4,611
給与関係費	73,987	62,835	67,241	4,406
物件費	14,652	7,442	7,150	△291
維持補修費	1,572	67	108	41
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	4,047	104	104	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	3,669	3,864	1,879	△1,985
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,362	608	1,236	628
退職手当引当金繰入額	1,013	△9,264	8,145	17,409
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	100,302	65,655	85,864	20,209
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△49,365	△28,242	△43,839	△15,597
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	0	47,069	-	△47,069
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	0	47,069	-	△47,069
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	△47,069	-	47,069
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△49,365	△75,312	△43,839	31,472
一般財源充当額	72,850	35,204	34,741	△464
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	23,485	△40,107	△9,099	31,008

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	休日急病診療所診療収入 41,738千円 平成28年度は、平成27年度と比較して、患者数が増加したことによる診療収入増 4,382千円
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬ほか 67,241千円 平成28年度は、平成27年度と比較して、職員構成が変化したことによる増 4,406千円(平成27年度に在職した臨時雇用員に替わり、平成28年度は再任用職員(週4日勤務)を配置)
物件費	医療材料費 6,013千円ほか 平成28年度は、平成27年度と比較して、患者数が増加したことによる医療材料費の増 328千円があるものの、平成27年度に不動産鑑定手数料 485千円の支出があることによる減 291千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	50,937	37,413	41,784	4,371
行政サービス活動支出	97,198	72,617	76,525	3,908
行政サービス活動収支差額	△46,261	△35,204	△34,741	464
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	26,590	-	-	-
投資活動収支差額	△26,590	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△72,850	△35,204	△34,741	464
一般財源充当額	72,850	35,204	34,741	△464
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 受診者の診療収入 (行政サービス活動支出) 診療に係る給与等関係費
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
受診者1人当たりのコスト	平成26年度	5,725 人	17,520 円	前年度と比べ、平成28年度は、受診者数が増加したものの、退職手当引当金繰入額を増額したことにより、受診者1人当たり、17,733円のコストがかかっています。
	平成27年度	4,320 人	15,198 円	
	平成28年度	4,842 人	17,733 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	608	1,236	628
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	608	1,236	628
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	3,574	3,304	△270	固定負債	7,146	13,978	6,831
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	3,574	3,304	△270	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	7,146	13,978	6,831
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	240	240	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	7,754	15,214	7,460
有形固定資産	-	-	-	純資産	10,059	960	△9,099
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	14,238	12,629	△1,609	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	17,813	16,173	△1,639
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	17,813	16,173	△1,639	負債及び純資産の部合計	17,813	16,173	△1,639

Ⅲ 財務構造分析

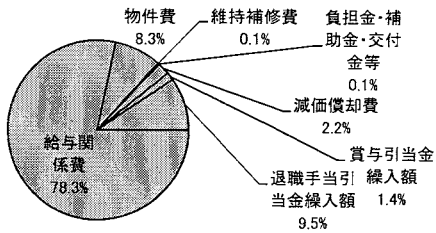
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	2人	16人	1日	0人	76,622
給与関係費等	24,177千円	52,436千円	9千円	0千円	
内、時間外勤務手当	520千円				

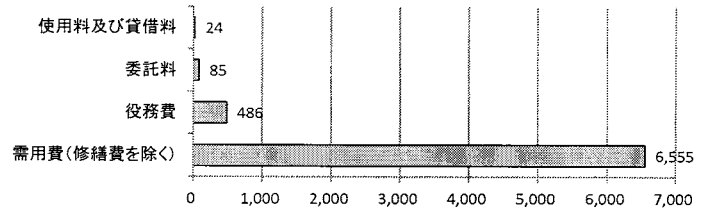
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	診療所の電気・照明・給排水設備等の工作物の減価償却による減(270千円)
重要物品	診療所の歯科診察台やレントゲン撮影装置等の大型備品の減価償却による減(1,609千円)

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立休日急病診療所
取得年月日	平成27年(2015年)2月4日
建物・工作物の取得価額	3,867千円
建物・工作物の減価償却累計額	563千円
利用料金収入	41,738千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成28年度			差 B-A
		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	
施設維持補修費比率		0.9	1.7	2.8	1.1
施設老朽化比率		69.6	7.6	14.6	7.0
受益者負担比率		50.7	56.9	48.6	△ 8.3
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		58.9	48.5	45.4	△ 3.1
経常費用対公共資産比率		57.6	1697.9	2220.5	522.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・経常収入42,024千円のうち、41,738千円は、受診者からの診療収入によるもので、経常収入の99.3%を占めています。受益者負担比率も48.6%と高く、受診者の負担が収入の大きなウエイトを占める事業です。
 ・経常費用85,864千円のうち、67,241千円は、主に医師、薬剤師、看護師などの出務報酬等を含む給与関係費にかかるもので、経常費用全体の78.3%を給与関係費が占めています。
 ・経常収支の差額は一般財源を充当しており、一般財源充当比率は45.4%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

休日急病診療所は、平成27年2月以降、総合福祉会館4階で暫定的に運営を行っています。今後は、恒久的な移転先として、「おおさか・すいたハウス(青山台4丁目)」の建物を購入して、必要な改修を行い、平成31年度末の開設に向けて準備を進めています。
 本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当していますが、診療収入は、インフルエンザの流行等の季節的要因に左右されるなど、大幅な収入増が見込めないことから、今後も収支の改善は困難であると考えます。
 しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要があります。
 今後は、事業のより効率的運営を目指して、事務の改善に取り組んでまいります。